

広島県離島振興計画

—島の価値に共鳴する人材の育成・確保

広島県地域政策局中山間地域振興課

離島振興対策実施地域の概況

広島県の島々は、国民的な財産である瀬戸内海の多島美景観を形成し、豊かな自然に恵まれ、数多くの歴史・文化遺産を有しております。本県では、七つの地域、一三の有人島が離島振興法に基づく離島振興対策実施地域（以下、「離島地域」）の指定を受けています。

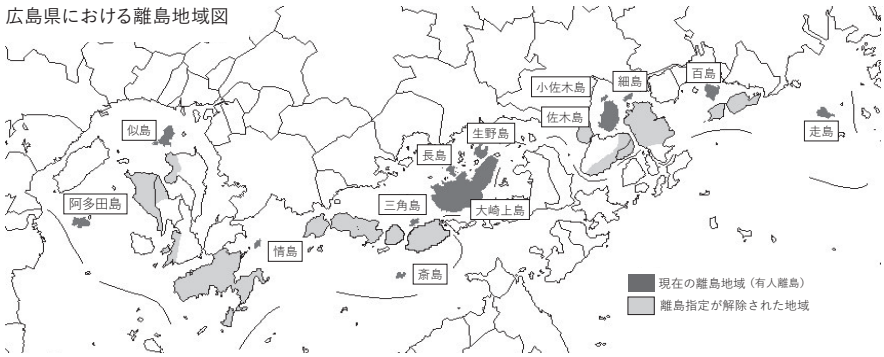
本県の島々は、昭和三二年から逐次、離島地域の指定を受け、七次にわたる「広島県離島振興計画」に基づき、関係施策を計画的に実施してきました。その結果、道路、港湾、漁港、上下水道をはじめとする生活・生産基盤などの基礎的な条件において、着実な成果を上げてきています。特に、本県

では、本土に近接した島が連たんして（並んで）いることから、架橋事業を積極的に推進してきました。本土と陸続きになったことにともない、これまで一三島が離島地域の指定を解除されています。

令和二年までの五年間で、本県の離島地域の人口減少率はマイナス一・九パーセントで、本県の過疎地域全体のマイナス八・二パーセントを大きく上回っています。近い将来、島内の無居住地区の出現や、人口の小規模な島の無人島化が現実的な課題として危惧される状態となっています。

また、大崎上島^{おほさきかみじま}以外は人口が千人に満たない小規模な離島で、本土や隣接する主島に依存し、一つの島で日常的なサービス機能を享受できる島は少ない状況です。さらに、交通や

広島県における離島地域図



瀬戸内海の多島美景観を形成する広島県の島々。

離島地域の概要

地域名	島名	市町村名	面積(km ²)	人口(人)
走島群島	走島	福山市	2.11	343
備後群島	百島	尾道市	3.13	380
芸備群島	細島	尾道市	0.76	27
	佐木島	三原市	8.71	585
上大崎群島	小佐木島	〃	0.50	5
	大崎上島	大崎上島町	38.27	7,084
	生野島	〃	2.25	11
下大崎群島	長島	〃	1.04	30
	三角島	呉市	0.78	16
	斎島	〃	0.70	12
安芸群島	情島	呉市	0.69	×
	阿多田島	大竹市	2.39	207
似島	似島	江田島市		
		広島市	3.84	694
7地域	13島	7市1町	65.17	9,398
【参考】 県全体	島しょ数：138島 面積：8,479km ² (離島地域の占める割合：0.8%) 人口：2,799,702人(離島地域の占める割合：0.3%)			

※人口は令和2年国勢調査、面積は国土地理院調(令和4年)等による。
 ※呉市情島の人口は著しく小さいため秘匿処理(×)とした。

広島県離島振興計画の概要

医療、福祉、産業などの生活・生産基盤の整備は十分とはいえず、地域産業の停滞による地域活力の低下など深刻な課題を抱えています。

本県では、平成二五年に「広島県中山間地域振興条例」を制定し、離島地域をはじめ、過疎地域や半島地域等を中山間

地域と位置づけました。翌年一二月に「広島県中山間地域振興計画」を策定、地域に暮らす方々が、将来に希望を持ち、「笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」を目指して、関連施策を総合的に展開していくこととしています。

しかし、この間も人口減少は続き、その傾向は今後一段と厳しさを増していくと見込まれています。離島地域の持続可能性を高めていくためには、現実を直視し、変化に対応できる新しい離島振興の道筋を見出していかなければなりません。このような認識の下で、瀬戸内海の豊かな自然や多くの歴史・文化、島ならではの生活の営みなどが存在する本県離島地域について、その目指す姿を県民の皆様と共有し、県民、市町、県が連携、協働しながら、持続可能な離島地域の実現に向けて、ともに行動を起こしていくことが必要となっています。

■ 目指す姿

「瀬戸内」の里山・里海に象徴される人と自然が作り出す地域ならではの資産が、守るべき価値あるものとして、内外の人々により引き継がれる中で、「地域への愛着と誇りの高まりが、将来への希望と安心につながり、心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる地域」の実現を目指します。

■ 計画の基本目標（令和一四年度目標）

- ①「ひろしま里山・チーム500」〔※1〕の登録人数（離島地域分）…六〇人以上
- ②年間観光客数（入込）…一六万三千人以上

■ 取り組みの基本姿勢

今後の離島振興施策を効果的に進める上で、三つの基本姿勢を念頭に、各施策を展開し、その実効性を高めていきます。

- ①地域の基盤や特性を強みとして生かす

離島地域ならではの資源や特性を地域の「強み」として再認識し、これまで活かしきれていなかった里山・里海の恵みを〈資源〉として上手く暮らしに活かし、離島地域内で回していける仕組みをつくることによって、眠っていた価値を引き出していきます。

- ②価値に共鳴する人を増やし、支えあいを安心につなげる

離島地域の「価値を維持・向上させる」ことの大切さに共鳴する多様な人材を地域内外で増やし、共に離島地域の未来をつくる存在として認め合い、支え合うことによって、安心の醸成につなげていきます。

- ③デジタルの力を取り込む

人口急減に直面している離島地域のさまざまな課題を克服できる大きな可能性を秘めた新たなデジタル技術を、離島地域の暮らしの中で分野横断的に実装することによって、新し

い時代に対応した暮らしのモデルを創出し、地域における横展開を図っていきます。

■計画の達成状況の評価・関係市町への支援

離島振興計画の適切な進行管理を行なうため、県と関係市町で構成する離島振興担当課長会議などを活用して、計画の進捗状況や課題等の把握、その他離島振興推進上の関係情報の共有化を図ることを基本に、離島地域を含む中山間地域の振興に向けて知事と関係市町の長で構成する「広島県中山間地域振興協議会」の場において、適宜必要な情報の共有化や関係施策等の協議を行なっています。

また、県の責務として、離島関係市町相互間の広域的な連携の確保や、関係市町に対する離島振興上の必要な情報の提供・支援を行なっています。

■分野別施策の振興方針

各施策分野における主な課題を紹介します。また、今後の振興方針については、三九ページの表をご参照ください。

①交通施設および通信施設の整備

日常生活を支える島内道路を整備し、港湾・漁港についても、防波堤、浮桟橋などを維持管理することで、輸送の安定性の確保に努める必要があります。また、離島航路や島内バ

ス路線は、地域の社会経済の変化にとまかない、利用者は長期にわたって減少し、公共交通機関としてのサービスを維持することが困難な状況です。国、県、市町が連携して離島航路補助するなど、こうした生活交通の維持・確保に取り組んでいます。その財政負担は過大となっています。

通信施設について、全県をカバーする情報通信基盤が整備されてきたところで、住民の利便性向上や産業の振興を図るため、情報化・地域ネットワークの形成を積極的に進める必要があります。

②産業の振興および就業の促進

近年は、漁場環境の悪化などで漁獲量、生産額ともに低迷し、水産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。また、農業においては、柑橘類をはじめとした生産農家の高齢化・後継者不足に加え、施設の経年劣化や老朽化、生産農家の所得向上、経営力の高い担い手の育成などが課題となっています。林業では、木材価格の低迷や高齢化、ライフスタイルの変化などで、森林への関心が薄れ、手入れ不足の森林が増えています。

造船業のほか建設業や農林水産物加工業などは経営形態が小規模なものがほとんどで、本県の離島地域で多い卸売・小売業も個人経営の小規模なものが大半です。いずれも厳しい経済情勢の下、経営体質の向上が求められています。一方で、

豊かな自然と共生し、開放的でストレスフリーな離島の環境は、「新たな生活様式」などを進める上での強みであり、新たなワークスタイルの受け皿となる企業のサテライトオフィスの誘致などに積極的に取り組んでいく必要があります。

③医療の確保、介護および福祉サービスなどの充実

本土や主島の医療機関に依存しており、病院や診療所がある島は六島のみです。また、医師不足など医療資源が限られ、感染症発生時における適切な体制づくりが求められています。高齢者の保健福祉について、小規模離島では本土に依存しており、専門的人材の確保が困難となっています。

過疎化で地域の相互扶助機能の弱体化が進み、生活上の支援を要する人々は一層厳しい状況に置かれています。また、サービス事業者の参入が進まないなど社会資源が少なく、地域の実情に応じた対応が求められています。子育て支援体制や在宅・施設サービスの充実など、ハード・ソフト両面で広域的に連携することで、育成や充実を図っていく必要があります。加えて、複合的な課題などへの対応として、分野を問わない包括的な支援体制の構築が求められています。

④教育の充実

児童生徒が著しく減少し、小中学校の小規模化が一層進行し、高等学校においても生徒数の維持が課題となる中で、「主体的な学び」を促す環境を整備する必要があります。また、学

校教育施設については、老朽化への対応や耐震化対策に取り組む必要がある一方、廃校や余裕教室〔※2〕の有効活用が期待されています。

指定地域別離島振興計画

本項では、各市町が作成した離島振興計画案を受けて策定した、地域別の離島振興計画の概要について紹介します。

①走島群島地域（走島）

水産業の振興と生活機能の充実、恵まれた資源を活かした交流の推進により、快適で活力ある地域社会の形成を図り、安心して暮らせる島づくりを進めます。特に、主要産業である水産業においては、藻場・干潟の維持造成など漁業基盤を整備するとともに、つくり育てる漁業を振興し、島内の雇用の場を確保し、就業機会の確保・創出に努めます。

②備後群島地域（百島）

日常生活機能を近接する本土に依存していることから、航路の維持確保を図るとともに、豊かな自然の中で快適な暮らしができる島づくりと、地域の特色を活かした産業や観光の振興、交流人口および関係人口の拡大を目指します。近年、マリンアクティビティやキャンプ等の事業化の動きもあるため、離島での滞在が特別な非日常の空間であり癒しの場であることをセールスポイントとしてPRします。

分野別施策の振興方針

離島振興計画 分野別施策項目	施策の細目・取組方向等
1 交通施設及び 通信施設の整備	(1)交通施設 ○道路整備による広域的な連携や交流の促進 ○島内道路等の整備 ○港湾・漁港の適切な維持管理 ○離島航路・島内公共交通機関の維持・確保 (2)通信施設 ○地域特性に応じた情報通信基盤等の充実等 ○デジタル技術の利活用
2 産業の振興及び 就業の促進	(1)水産業 ○海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築 ○瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築 ○漁業生産基盤の整備 (2)農林業 ○持続的な農業の確立や販売力の強化に向けた取組の推進 ○地域の特色である柑橘類の産地の再生 ○需要に応える野菜の生産体制の確立 ○森林の公益的機能の維持発揮 (3)その他の産業 ○農水産業と連携した6次産業化を含む農山漁村発イノベーションなど新たな産業の創出 ○サテライトオフィス等の誘致等 ○新たなワークスタイルの確立
3 生活環境の整備	(1)水道・汚水処理・廃棄物処理等 ○水道施設の計画的な整備・更新の推進 ○地域特性に応じた排水処理施設の整備 ○廃棄物のさらなる3R・再資源化の推進 (2)住環境の整備等 ○空き家の適正管理や有効活用の促進 ○ユニバーサルデザイン社会の実現 ○デジタル技術を活用した暮らしの向上
4 医療の確保	○医師等医療従事者の確保 ○医療連携体制の維持・強化 ○デジタル技術を活用した診療支援 ○感染症発生時等における医療提供体制の整備
5 介護及び 福祉サービス等の充実	(1)高齢者の保健・福祉 ○地域包括ケアシステムの質的向上の推進 ○地域の実情に対応した高齢者支援の推進 ○高齢者のニーズに対応した介護サービスの提供等 ○認知症高齢者に対する適切な医療や介護サービスの提供等 ○福祉・介護サービスに対応する総合的な人材確保 (2)障害者(児)の保健・医療・福祉の向上 ○障害者等のニーズに応じた適切な相談支援体制の整備 ○地域の実情に応じたサービス事業者の確保 ○障害者ニーズへの的確な対応に向けた医療・福祉機関の連携 ○複合的な生活課題等に対する分野を問わない包括的な支援体制の構築
6 教育及び文化の振興	(1)教育の振興 ○離島の教育条件等の整備 ○地域に開かれた学校づくりの推進 ○学校教育施設等の長寿命化や有効活用の推進 ○学習機会の充実等による生涯学習の振興 (2)多様な文化の振興 ○地域の文化財の保存・継承の仕組みづくり ○地域文化の振興や新たな文化活動の創造の推進 ○地域文化の振興等に係る施設の整備
7 観光振興及び 交流の促進	(1)観光振興 ○「瀬戸内ブランド」の確立 ○豊かな地域資源等を活用した交流の促進 ○ストーリー性のある滞在交流型観光プロダクトの充実 ○県内外に対する離島の魅力の情報発信 (2)移住・定住・地域間交流の促進 ○東京圏等からの移住等の促進 ○地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化
8 自然環境の保全及び 再生可能エネルギーの 導入促進	○藻場、干潟、自然海岸などの自然環境や生物・生態環境の保全 ○海洋プラスチックごみの流出防止等の推進 ○地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進
9 国土保全施設の整備 その他防災対策	(1)国土保全 ○砂防・治山事業及び海岸保全施設整備の計画的な推進 ○自然環境との調和等による海岸整備の推進 ○里山林整備の推進 (2)消防防災 ○地域防災力の強化に向けた体制整備の推進 ○防災施設の整備や災害時の連絡・避難体制等の確保
10 人材の育成・確保	○地域における《つながり力》の強化 ○地域の将来を担うリーダーの育成 ○地域を内外から支える人材の広域的なネットワークづくり ○持続可能な地域運営の仕組みづくり



島1周をプロの自転車ロードレーサーと自転車と一緒に走るイベント「ファンライドみはら」の様子(三原市佐木島)。

③ 芸備群島地域

(細島^{ほこじま}・佐木島^{さきじま}・小佐木島^{こさきじま})

豊かな自然などの地域資源を活かした都市との交流を促進し、住民と協働で地域の活力の維持増進を図るとともに、生業である農業の推進、人や車両の移動に必要な航路の維持など安心して暮らせる島づくりを目指します。佐木島においては、豊かな自然を舞台に繰り広げられるトライアスロン大会、フルマラソン、自転車ロードレース等が開催されるなど、スポーツの島として全国にPRします。

④ 上大崎群島地域

(大崎上島^{おほさきじま}・生野島^{いくのしま}・長島^{ながしま})

地域資源を活かした観光交流や地域産業の活性化をともし

て、瀬戸内海の豊かな自然の中で、住民が心と体の元気を保ちながら、創造的で快適な生活を送ることができる、元気な島づくりを目指します。地域の特産品である柑橘やブルーベリーにおいては、六次産業化や観光と連携した新たな事業展開への取り組みを支援します。

⑤ 下大崎群島地域

(三角島^{みかどじま}・斎島^{いさじま})

本地域は、日常生活機能を架橋島である豊島^{よよしま}や大崎下島に依存していることから、航路など生活利便性の維持・向上に努めるとともに、農業の振興、島の豊かな自然を活かした他地域との交流促進を図りながら、安心して暮らせる地域づくりを目指します。地域主体で行なわれている地域イベントを中心に、瀬戸内海国立公園に指定されていることを活かしながら、交流の促進を図ります。

⑥ 安芸群島地域

(情島^{なげじま}・阿多田島^{あたたじま})

情島は、日常生活機能を本土に依存しており、航路など生活利便性の維持・向上を図り、安心して暮らせる環境づくりを進めます。阿多田島は、水産業を中心とした産業の振興により活性化を図るとともに、交通基盤、医療、介護、福祉、生活環境、災害対策など、安全で安心して暮らし続けられる島づくりを目指します。

⑦ 似島地域

(似島^{にのしま})

豊かな自然などの地域資源を活かした都市との交流を促進

指定地域別の振興方針

地域名	主要な施策
走島群島	<ul style="list-style-type: none"> ○水産業の振興と就業機会の確保・創出 ○恵まれた資源を活かした交流の推進 ○快適な生活のための機能の充実
備後群島	<ul style="list-style-type: none"> ○本土との一体性を確保するための条件整備 ○特色ある農業の振興 ○特色を活かした観光の振興と交流人口の拡大
芸備群島	<p>【細島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○因島との一体性を強化する条件整備 ○農業の振興と雇用の場の確保 <p>【佐木島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光資源の開発と豊かな資源を活かした交流の促進 ○住民との協働による地域活性化の推進 ○デジタル技術等新技術の活用 <p>【小佐木島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然を活かした観光資源の開発
上大崎群島	<p>【大崎上島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域的な交通ネットワークの推進 ○産業の振興 ○特色を活かした観光交流の促進 ○環境に優しい島の整備促進 <p>【生野島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○瀬戸内海の資源などを活かした観光交流の促進 <p>【長島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本島との一体的な整備促進及び地域の活性化
下大崎群島	<p>【三角島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業や工業の振興 ○離島航路の維持 <p>【斎島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○離島航路の存続 ○恵まれた自然や歴史的遺産を活かした交流の促進
安芸群島	<p>【情島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○離島航路の存続 ○水の確保 <p>【阿多田島】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水産業を活かした観光の振興 ○安全・安心して暮らせる条件整備
似島	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して快適に暮らせるための日常生活機能の充実 ○新たな観光資源の開発と豊かな自然や歴史・文化資源を生かした交流人口の拡大 ○住民との協働による地域の活性化

先述の施策を展開するにあたっては、島に住む人々の主体的な取り組みに加え、他の離島や都市との連携、県や関係市

まとめ

し、住民と協働で地域の活力の維持増進を図るとともに、似島と継続的に関係を有する島外の人材も活用しながら、安心して快適に暮らせる島づくりを目指します。特に、似島歓迎交流センターを拠点として、島の住民が恵まれた自然環境や貴重な歴史的文化的資源を活かした交流・体験などの活動を行なえる場を提供します。

町の支援や協働といった取り組みが不可欠となります。そのため、広島県は、離島振興計画に基づいて、離島地域の価値や暮らしに共鳴する地域内外の人々を増やし、こうした方々に地域への愛着と誇りを広く共有していただき、それを将来への希望や安心につなげていくことによって、心豊かに笑顔で暮らし、充足した幸せを実感できる離島地域の実現を目指していきます。

※1…中山間地域に関わりを持ちながらさまざまな活動を実践している人たちがつながり、地域づくり活動の輪を広げていくための人材プラットフォーム。

※2…現在は普通教室として使用されていない教室のうち、学校の学区内に居住する児童などの人口を鑑みて、今後五年間以内に使用されることがないと考えられる教室。